

■ HRD FINE ART 展覧会開催のご案内 ■

精神の風景 ・ ○▲□

天野百恵 上野洋嗣 佐野直 田中加織 原口勉

会場： HRDファインアート（京都市上京区上御霊壱町494-1）

会期： 2021年 2月11日（木・祝）～ 3月27日（土）

時間： 木曜日 11:00～15:00

金・土曜日 11:00～19:00

（日～水曜日も事前のアポイントにより観覧可能です）

【展覧会概要】

HRD ファインアートでは、2021年2月から3月にかけてグループ展「精神の風景 ・ ○▲□」を開催します。本展は、2019年に福岡で開催されたグループ展「精神の風景」（EUREKA）の続編的な位置付けの展覧会として、アーティスト原口勉とHRD ファインアートの共同企画により開催されます。

2019年の「精神の風景」展は、2016年4月の熊本地震をひとつの契機として、強大なエネルギーを持つ自然との中での存在としての人間のあり方を問いかける展覧会でした。その参加作家のうち3名（上野洋嗣、佐野直、原口勉）に、新たに京都にゆかりのある2名の作家（天野百恵、田中加織）を加えて開催する今回の展示は、地域性や精神性を象徴するものとしての「山」を中心的なテーマに据え、絵画とインスタレーションによりギャラリー空間をひとつの風景として提示する試みとなります。

歴史的にも文化的にもそれぞれ独自の集積を持つ九州と京都という2つの土地を、5名の作家の多彩な作品と表現によって結び合わせることで、風土と風景、地霊と歴史、地域と美術など、現在のコロナ禍との関わりも暗示させる様々なキーワードを浮かび上がらせませす。

【共同企画者からのメッセージ】

九州・熊本を震源地として発生した巨大地震のエネルギーを背景に、熊本在住の美術家を中心としたランドスケープの展覧会を2019年に福岡で開催した。「精神の風景」とタイトルを冠したその展覧会は、絵画表現を軸に置きながら、人為的な境界線を自然の地理条件と重ね合わせ「人為」を無効化させる内容だった。

「精神の風景 ・ ○▲□」は「仮想の山」の麓に立ち並ぶ美術群である。それはリアルな風景を人間の精神に取り込む鍵であり、様々な思考が絵画を中心軸にインスタレーションとして屹立する。

佐野直は無数の点で既視感のある自然や光景を描き出す。上野洋嗣はジオラマから「超越的な風景」を生成する。田中加織は日本庭園から着想されたアイスクリームのようにカラフルな山々を聳えさせる。原口勉は対馬の山中に建つ「禁忌な遺跡」から物語を紡ぐ。天野百恵は生活のタイムラインから多様な表現を派生させる。

現実と象徴が人間の精神フィルターによって幾層にも濾過され入れ替わる風景を、中心から辺境まで点在する美を捉えながらモニターに上書きする視点で展開する。

タイトルについて。

「・」は地理的な局地点である。それは辺境で制限を課された場であり、その区域の抑圧ゆえに精神の輝きをより放ち存在する特異点。

「○」は点の対極として全体性を表す。

「▲」は風景としての山を表す。

「□」は絵画、書物、テレビやスマホの画面など、人類の発展と共に矩形による空間支配が強まることを表象する。

原口 勉

お問い合わせ：HRD FINE ART (エイチアールディー・ファインアート)

住所：〒602-0896 京都市上京区上御霊豎町494-1

電話：090-9015-6087 (担当：原田)

ウェブ：<http://www.hrdfineart.com>

Eメール：info@hrdfineart.com



【作品画像】 (予定・参考)



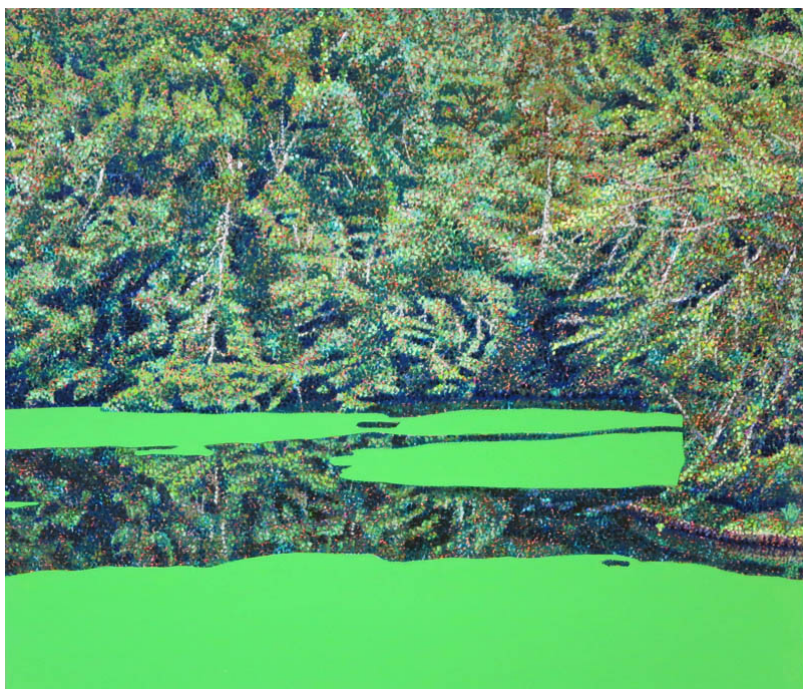
天野百恵 《くるくる picnic and screen》

インスタレーション（「秋の種 2019 - 花の歌が聴こえる時代に - I'm Here／私はここにいる」2019年、EUREKA（福岡）より）



上野洋嗣 《雲の上》

キャンバス／油彩 38×45.5cm 2020年



佐野直 《夏の日》

油彩、アクリル／パネル、綿布 45.5×53cm 2020年



田中加織 《月山水雲海図 No.2020.12》

油彩／キャンバス 145.5×112cm 2020年



原口勉 《空中絵画》

ガムテープ、木材、本 120×120×300cm 2020年

【作家略歴①】

天野 百恵

Moe AMANO

天野百恵は神秘性をまとった有機的なフォルムによる絵画や立体を制作するほか、里山での日々の暮らしそのものを創作活動と位置付け、ユニークな取り組みを実践しています。

1982 福岡生まれ
 2004 九州産業大学芸術学部美術学科卒業
 現在、福岡在住

主な個展

2004 「AT HOME」 cafeDESSERT DINER (福岡)
 2005 「Like a smoke lings」 GALLERY ANTENNA (京都)
 「scape」 ギャラリーそわか (京都)
 2007 「invisible animals」 CAP HOUSE 山側ギャラリー (神戸)
 2010 「かすみたつ やわらかい 雨」 ギャラリー16 (京都)
 「amano moe iro iro」 Halo Galo (京都)
 2011 「空を集める -seek the sky-」 うめぞの CAFE & GALLERY (京都)

主なグループ展

2002 「誤個展」 福岡市美術館市民ギャラリー (福岡)
 2003 「WALD GRAPH5」 モダンアートバンク WALD (福岡)
 「RoomRoom Exhibition」 ギャルリエレコルテ (福岡)
 2007 「ねこび展」 アートアパート 88 (福岡)
 「福岡アート・ミニコレクション」 ギャラリーアトリエ (福岡)
 2008 「GEISAI ミュージアム#2」 東京ビッグサイト (東京)
 「通りと広場《トランジット》」 ギャラリーアトリエ (福岡)
 「棲むもの/sina」 PRAHA Project+deep sapporo 9J (札幌)
 2009 「見えない未来に殴り込め」 アートスペース嵯峨 (京都)
 「After School 放課後の展覧会」 元立誠小学校 (京都)
 「10×10」 trance pop gallery (京都)
 2010 「ねこびりターンズ」 ART BASE 88 (福岡)
 2011 「激凸展」 UnsealContemporary (東京)
 「わざゼミ 2010 報告展」 京都芸術センター大広間 (京都)
 2013 「胎内巡りと画賊たち」 京都伝統工芸館 (京都)
 2018 「藝術生活宣言 - だって楽しいんだもん！」 九州芸文館 (福岡)
 2019 「秋の種 2019 - 花の歌が聴こえる時代に - I'm here／私はここにいる」 EUREKA (福岡)
 2020 「ちくごアートファーム計画 2020 旅と恋愛」 MEIJIKAN ギャラリー (福岡)

「新しい境界を超える。シリーズ第1回 オンラインとリアル展示／春夏秋と冬の花2020」
konya-gallery（福岡）

アーティスト・イン・レジデンス

2008 PRAHA Project（札幌）

受賞

2019 「ARTS PROJECT SCHOOL サミット 2019」 審査員特別賞（日比野克彦）

【作家略歴②】

上野 洋嗣

Hirotsugu UENO

上野洋嗣は架空の土地のジオラマを作製し、それを写生的に絵画平面に落とし込むことにより、虚実が交錯する風景絵画を制作します。

1984 熊本生まれ
2006 崇城大学芸術学部美術学科洋画コース卒業
2008 崇城大学大学院芸術研究科修士課程修了
現在、熊本在住

主な個展

2011 「上野洋嗣展」コレクションOMO（熊本）
2016 「Vision」なかお画廊（熊本）
2018 「Biography」崇城大学ギャラリー（熊本）

主なグループ展

2007 「第8回雪梁舎フィレンツェ賞展」雪梁舎美術館（新潟）
2012 「第21回英展」田川市美術館（福岡・田川）
2013 「シェル美術賞展2013」国立新美術館（東京）
2015 「損保ジャパン日本興亜美術賞FACE2015」東郷青児記念損保ジャパン日本興亜美術館（東京）
2017 「シェル美術賞展2017」国立新美術館（東京）
2019 「精神の風景」EUREKA（福岡）
2020 「Kyushu New Art」博多阪急（福岡）

【作家略歴③】

佐野 直

Nao SANO

佐野直は実際に訪れたことのある場所を精緻な点描のテクニックによって描き出すことで、その意味や個人的な記憶を解体・再構築します。

- 1987 熊本生まれ
2009-10 チェスターカレッジ（英国チェスター）留学
2011 福岡教育大学生涯スポーツ芸術課程美術領域卒業

主な個展

- 2014 「point rhythm」シゲキバ（福岡）
2017 「漂う景色」蔦屋書店熊本三年坂（熊本）
「Landscapes」ギャラリーBiN（福岡）

主なグループ展

- 2014 「現代洋画秀作展」県民百貨店（熊本）
2015 「佐野直×高橋文子二人展」ギャラリー青羅（東京）
2018 「佐野直・福嶋さくら二人展」ギャラリー尾形（福岡）
2019 「VOCA展2019 現代美術の展望-新しい平面の作家たち」上野の森美術館（東京）
「精神の風景」EUREKA（福岡）
「PARALLEL 小川万莉子×佐野直 二人展」なかお画廊（熊本）
2020 「Kyushu New Art」博多阪急（福岡）

アーティスト・イン・レジデンス

- 2018 Vermont Studio Center（Displaced Artists Fund）（米国バーモント州ジョンソン）

受賞

- 2010 「TURNER AWARD 2010」未来賞
2017 「第9回香梅アートアワード」奨励賞

【作家略歴④】

田中 加織

Kaori TANAKA

田中加織は東洋的な哲学思想や宗教的世界観を起点としながら、カラフルでファンタジックな理想郷としての「現代の山水画」を描き出します。

- 1982 京都生まれ
- 2004 成安造形大学洋画科卒業
- 2005 成安造形大学洋画科研究生修了
- 現在、京都在住

主な個展

- 2006 「蓬莱」 アートスペース虹（京都）
- 2008 「秘すれば花なり」 ギャラリーアートコンポジション（東京）
O ギャラリーeyes（大阪）
- 2009 東京上野松坂屋（東京）
札幌三越（札幌）
- 2012 「光月山」 HRD ファインアート（DEMADO PROJECT）（京都）
- 2013 「石浮島」 KUNST ARZT（京都）
「庭島」 gallery near（京都）
- 2014 「月山水ナガルル」 コンテンポラリーアートギャラリーZone（大阪）
- 2015 「月山水ナガルル」 ギャラリーいのくま亭（京都）
- 2016 「落下する砂と石」 ギャラリーいのくま亭（京都）
- 2019 「月山水ナガルル」 伊勢丹新宿本店 6 階アートギャラリー（東京）

主なグループ展

- 2003 「Art Camp in CASO」 海岸ギャラリーCASO（大阪）
- 2006 「Art Camp in kunst bau」 ギャラリーヤマグチ（大阪）
- 2008 「思考と絵画」 ギャラリーワークス（大阪）
「セオリーアート賞展」 セオリー青山本店（東京）
「アーティクル賞展」 AJC オークション（東京）
- 2009 「トーキョーワンダーウォール」 東京都現代美術館（東京）
- 2010 「京展」 京都市美術館（京都）
「思考と絵画 2」 ギャラリーワークス（大阪）
- 2011 「萬福寺芸術祭」 萬福寺（京都）
「カレント展」 京都市美術館別館（京都）（2012、14 も）
「アートオークション story」 関西日仏会館（京都）
「オープンアトリエウオーク 京都アペルト」（京都）
- 2012 「TRANSNATIONAL ART」 大阪現代美術センター（大阪）

- 「ギャラリーwks10 周年祭」ギャラリーワークス（大阪）
「ABEND」 Gallery Ort Project（京都）
「京都オープンスタジオ」（京都）（2013 も）
「若手四人作家展 」松山三越（松山）
- 2013 「Common Sense of the East」 Gallery 175（ソウル）
「ART ROAD 77 」ヘイリ芸術村（韓国パジュ）
「TAKE OUT ART !」 gallery near（京都）（2014 も）
「ABEND vol.2」 京都市サーチパーク町家スタジオ（京都）
「空想美術大賞展」伊藤忠青山アートスクエア（東京）／蔵丘洞（京都）
「tokonoma 展」 gallery near（京都）
「箕面の森アートウォーク」（大阪）
- 2014 「ヤングクリエイターズアワード」 MI ギャラリー（大阪）
「天祭一〇八」 増上寺（東京）
「えんぎもの 」白白庵（東京）
「Nature Explored: Interpretation of Japanese Landscape」日本友好庭園（サンディエゴ）
「京都府美術工芸新鋭展」 京都府文化博物館（京都）
- 2015 「感じる風景」 橘画廊（大阪）
「高尾小フェス」 南山城村・旧高尾小学校（京都）
「VIVID 展」 ギャラリーアートコンポジション（東京）
- 2016 「Dancing in September」 橘画廊（東京）
- 2017 「ギャラリーwks15 周年祭」 ギャラリーワークス（大阪）
「さかずき」 Art Spot Korin（京都）
「MINA-TO Art Wall Vol.8 WONDERS vol.2 Greenscape」 スパイラル MINA-TO（東京）
「間取りの時」 京旅籠むげん（京都）
「若き表現者のためのコレクション展」 ギャラリー菊（大阪）
- 2020 「NIPPON 発！現代アート展」 銀座三越 7F ギャラリー（東京）

受賞

- 2004 「成安造形大学卒業制作展」 優秀賞
2008 「セオリーアート賞」 銀賞
2013 「空想美術大賞展」 日本電算株式会社賞

【作家略歴⑤】

原口 勉

Tsutomu HARAGUCHI

「アートホーリーメン」名義でコミックをベースとした絵画作品を発表してきた原口勉は、近年は地域の歴史に立脚したインスタレーションなどにも精力的に取り組んでいます。本展共同企画者。

1973 熊本生まれ

現在、熊本在住

主な個展

- 2012 「HORYMAN と鯨」 nap gallery (東京) / island MEFDIUM (東京) / Bambinart Gallery (東京)
- 2015 「BARAMAN/ANIMI-ZOOM」 Bambinart Gallery (東京) / 株式会社オーラルケア (東京)
- 2016 「縄文温泉煙」 清島アパート (別府)
- 2018 「アートホーリーメン展 2005-2018」 熊本市現代美術館G3 (熊本)
- 2019 「アートホーリーメン 2019」 WHITE SPACE ONE (福岡)
- 2020 「arthorymen2020」 蛆；菌 (台中)
「門・光線・□ (原口勉レジデンス成果報告美術展)」 対馬アートセンター (対馬)

主なグループ展

- 2014 「第17回岡本太郎現代芸術賞展」 川崎市岡本太郎美術館 (川崎)
- 2019 「精神の風景」 EUREKA (福岡)

アーティスト・イン・レジデンス

- 2016-17 清島アパート (別府)
- 2019 対馬アートセンター (対馬)

受賞

- 2014 「第17回岡本太郎現代芸術賞展」 特別賞

【感染対策について】

HRD ファインアートでは、展示プログラムの再開にあたり、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染拡大防止対応として、以下の措置を導入・実施いたします。

① オープニングレセプションの中止

従来、展覧会初日にアーティストを囲んでオープニングレセプションを開催してきましたが、当面の間これをすべて中止します。

② 検温・マスク着用・手指消毒の徹底

ご来場の方は、事前(当日)に検温をお願いいたします(会場で非接触式体温計による検温をお願いする場合があります)。37.5℃以上の熱のある方や咳等の呼吸器症状のある方はご来場をお断りします。また、来場時はマスクの着用をお願いします。健康上の理由等によりマスクを着用することができない場合は、事前にお申し出ください。また、ギャラリー入口に設置する手指消毒用のアルコールでの手指消毒をお願いします。

③ 来場人数制限の実施

ギャラリー内の混雑を避けるため、来場人数の制限を設け、ギャラリーへの入場をお待ちいただく場合があります。

④ 臨時休業・完全アポイント制への移行の可能性

新型コロナウイルスの感染拡大を見極め、状況に応じてギャラリーを臨時に休業、または事前アポイントによる完全予約制とさせていただく可能性もあります。こうした場合は、ギャラリーのウェブサイト www.hrdfineart.com や SNS のチャンネルを通じて、なるべく早い段階で告知を行います。

以上